

## 海外報告

## エチオピア連邦民主共和国 アテムガナ道路建設機械訓練センター プロジェクト

### 1. アテムガナ道路建設機械訓練センター

エチオピア国の首都アジス・アベバの中心から南西に約 20 km の距離に位置する ERA（エチオピア道路公社）の付属機関であるアテムガナ道路建設機械訓練センター（以下、ATTC）は、1956 年に設立され、ERA や RRA（州政府道路公社）の職員を対象に、現在の施設や機材で道路建設・保守工事を行う技術者・技能工の訓練を行ってきた。

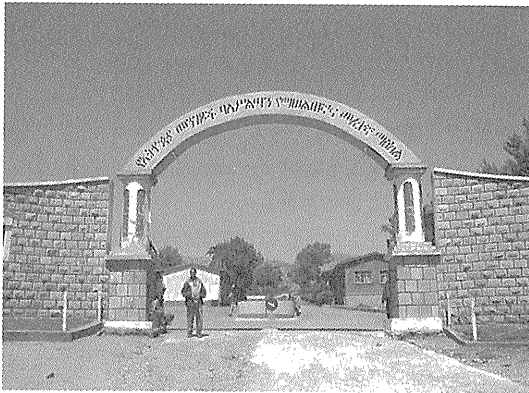


写真-1 アテムガナ道路建設機械訓練センターの正門

### 2. プロジェクトの背景

エチオピア国の道路・橋梁は、長年の内戦と道路の保守不足のため損傷がひどく、経済社会の復興、特に農業の生産性向上を目的とする物資輸送に多大の支障をきたし、同国政府が最重要課題としている農業開発を中心とした「貧困削減計画」に大きな影響を及ぼしている。

このため、同国政府は道路セクターを重点分野の一つと位置づけ、世界銀行（IDA）等の支援をうけて「道路整備 10 ヶ年計画（Road Sector Development Program :

RSDP）」（1997 年～2007 年）を策定し、1997～2002 年間の RSDP（Ⅰ）で国道の 4,192 km、2002～2007 年間の RSDP（Ⅱ）で国道の 9,774 km の整備を行うこととした。

しかし、本道路計画を実行するためには、道路建設・保守工事を担う技術者・技能工が「質」「量」ともに不足している。特に、道路建設機械オペレータ、道路建設機械整備工、工事管理を行う道路建設施工管理技術者の不足は深刻である。

ERA は、このセクターのニーズに応えるため、RSDP の一環として、同国唯一の機械化施工訓練の施設である ATTC の訓練能力の強化を行い、緊急にこれらの技術者等を養成することとした。

同 RSDP において、道路建設・保守工事の機械化施工を実施するために必要な技術者数は表-1 に示す通りである。

表-1 道路建設・保守工事の機械化施工を実施するために必要な技術者・技能工数（人/年）

エチオピア予算年度 (7月～6月)	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	年度 平均
道路建設機械オペレータ	6,231	6,968	7,035	5,762	5,829	6,365
道路建設機械整備工	1,246	1,394	1,407	1,152	1,166	1,273
道路建設施工管理技術者	279	312	315	258	261	285

出典：ERA

### 3. プロジェクトの概要

#### (1) プロジェクトの期間

プロジェクトの期間は、2002 年 4 月 1 日から 2006 年 3 月 31 日である。

#### (2) 達成目標

##### (a) プロジェクト終了時の達成目標

プロジェクト終了時の達成目標は、訓練センターの機械化施工訓練が、ニーズに応え、適切に実施できるもの

となり、エチオピア国の道路建設・保守工事に必要とされる機械化施工分野の人材を「質」「量」ともに充足することである。この目標を達成した場合の訓練実績の増加は年間修了生数で比較すると、現行の訓練センターでの訓練実績の約3倍になる予定である。

#### (b) 協力終了後に達成が期待される目標

道路分野における大型機械を利用した道路建設技術者や技能工の育成は、RSDPを推進するとともに、プログラム後も道路保守が確実にできるようになり、更には道路建設産業での雇用機会が増大する。

### (3) 訓練コース

ATTCは、現有機材の老朽化にもかかわらず機材の更新ができず、また、指導員は再訓練の機会がなく、最新の機械運転操作技術や整備技術及び施工管理技術に追いついていけなかった。そこで、当プロジェクトでは、建設機械及び整備用の機械・器具等を供与し、合わせて専門家を派遣し指導員等へ技術移転をすることによりATTCの訓練能力の強化を行い、「質」「量」ともに不足している道路建設・保守工事を担う技術者・技能工を緊急に養成することとしている。

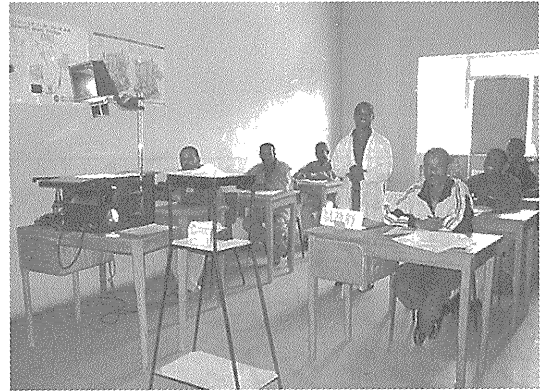
#### (a) 道路建設機械オペレータコース

ERA、RRA、その他民間会社等で働く約2,000名の道路建設機械オペレータ補助員を訓練して、道路建設機械オペレータに仕上げ、「量」の拡大を図るとともに、約3,900名の現有の道路建設機械オペレータを再訓練し、「質」を向上させることにより最新の機械化施工の技術に対応できることを目標としている。なお、同コースには、ダンプトラックコース、ブルドーザコース、エクスカベータコース、モータグレーダコース、ローダコース、ローラコースが開設される予定である。

#### (b) 道路建設機械整備工コース

道路建設機械を適切に整備し、機械の稼働率を向上させる道路建設機械整備工の育成や再訓練ニーズが大きい(道路建設機械オペレータ数の約20%と推定される)ことから、現行コースの更新・強化を図ることとした。

なお同、コースには、育成コース、向上コース、管理コースが開設される予定である。



写真一2 道路建設機械整備工コースでの座学風景

#### (c) 道路建設施工管理技術者コース

エチオピア国政府の方針として道路建設・保守工事が「直営工事」から「請負工事」へ移行するに当たり、契約管理を中心とした道路建設施工管理技術者が必要となる。訓練対象者数を、一工事現場当たり少なくとも3名程度の道路建設施工管理技術者を必要とすると見込み、訓練することとしている。

## 4. プロジェクトの現状

本プロジェクトの日本人専門家4人は、4月2日にアジス・アベバに着任し、既に2月2日に着任していた、チーフアドバイザーと合わせて全員がそろった。

本報文執筆時点では、日本人専門家チームは、プロジェクトドキュメントを基にプロジェクト4年間の詳細計画を立てているところである。

また、本プロジェクトには無償資金協力は無いが、道路建設機械及び整備用機械・器具等が、ATTCに供与されている。6月中旬にはジブチ港に到着し、所定の手続きを経て7月下旬までには、プロジェクト・サイトのアラムガナに到着する予定である。

プロジェクトでは、供与機材の受入、格納・設置がスムーズに運営されるように準備を進めているところである。(文責：山名 良)